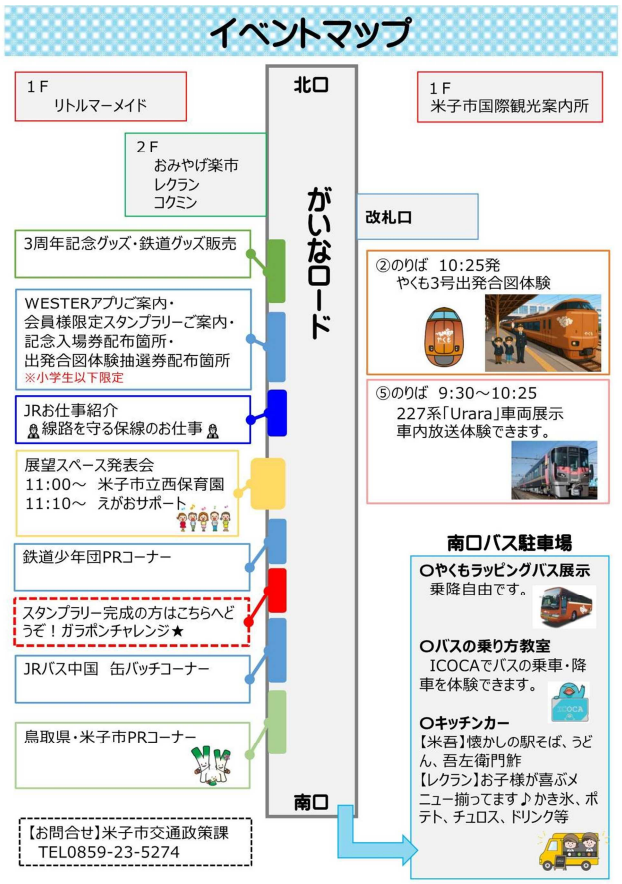
資料5

イベントチラシ





新聞記事 7／30（日本海新聞・山陰中央新報）



（21） 地域総合 2026年（令和8年）7月30日 木曜日 日本

記念品求めにぎわう
がいなロード開通3周年

JR米子駅の新駅舎開業と、同駅の南北自由通路が「がいなロード」の開通3周年を記念したイベントが29日、同駅を中心に開催された。記念入場券の配布やスタンプラリー、限定商品の販売があり、鉄道ファンや親子連れでにぎわった。

米子市とJR山陰支社、開業3周年を迎えた「おみやげ楽市シャミネ米子店」を運営するJR西日本山陰開発が、利用者への感謝と駅周辺の活性化につなげようと企画した。

先着300人限定の記念入場券を手にれようと、駅構内には予定時間の30分以上前から行列ができた。3周年にちなみ、抽選で当選した3人の子どもたちが、岡山発出雲市行きの特急やくも3号の出発合図をした。横佐野駅長の「米子駅3周年、やくも出発進行」の号令で子どもたちは右手を挙げ、車両を見送った。

母親と来場した米子市の田畑栄介さん（8）＝啓成小3年＝は、がいなロードから車両を眺めることもあるといい、「いつもと違った角度で電車を見られて楽しい。また見に来たい」とにっこり。横佐野駅長は「駅が明るくなった。がいなロードは駅の北側と南側をつなぐ架け橋で、活性化のシンボル」と話した。（足立綾史）

イベント来場者でにぎわうがいなロード＝29日、米子市弥生町



山陰中央新報

「がいなロード」開通3周年
JR米子駅
記念イベントにぎわう